

駒ヶ根ロゲイニング 2010 プログラム

2010年9月20日（月・祝）



9月の3連休の最後を、ナビゲーションパラダイス駒ヶ根で、がっつり遊びたい方。5時間ロゲインでお楽しみ下さい。

・ 昨年のロゲイニング大会の範囲から駒ヶ根市街地まで拡大。競技時間を3時間から5時間に拡張

中央アルプスの一角、宝剣岳の前山である池山は、一本尾根で比較的安全、「最も身近なアルプス」として地元の子供たちの遠足先としても親しまれています。それに加えて絶好のオリエンテーリングフィールドである駒ヶ根高原の扇状地の森林、高原地区の観光地で構成される3時間ロゲイニングを昨年行いました。今年は、さらに駒ヶ根市街地まで範囲を拡大。天竜川を越えて川の東側までが競技エリアとなります。隠れた観光スポットなども紹介していき、“アルプスがふたつ映えるまち”駒ヶ根の魅力をしゃぶりつくしていただきます。竜東の丘の上から眺める中央アルプスの風景も、千畳敷が、目線まっすぐの先になり、また格別なものです。また、テレ東“でぶや”で取り上げられた“大食い神社”なども、絶好のチェックポイントになるでしょう。（駒ヶ根は、知る人ぞ知る“大盛り”で有名な街です。標準が大盛、並盛は、そのようにわざわざ言わないといけないのです。）オリエンテーリングフィールドとしての質が全国的にみても極めて良い地であるので、今回はオリエンテーリング競技者が有利になり過ぎた設定だったのが反省点。今回は市街地拡大にあわせて、幅広くアウトドア志向者に楽しんでいただけるコース設定を目指します。

・ 競技地図は、地図作家・山川特製のものを使用

池山エリアは、当方特製のトレッキングマップ、駒ヶ根高原エリアは、2004年以來足掛け4年を掛けて作成した高精度のオリエンテーリングマップ（O-MAP）を使用しました。今回拡大する市街地部分も、O-MAPでこそありませんが、地図作家・山川が手を掛けた特製のマップを使用します。アパートな地理院地図を使用して、色々な方がロゲイニングを行うようになりましたが、私は地図作家として、ちゃんと読図できていながら地図の不備のために道に迷う、ということは決して無いよう、提供地図に関しては、王道を歩んで行きたいと考えています。

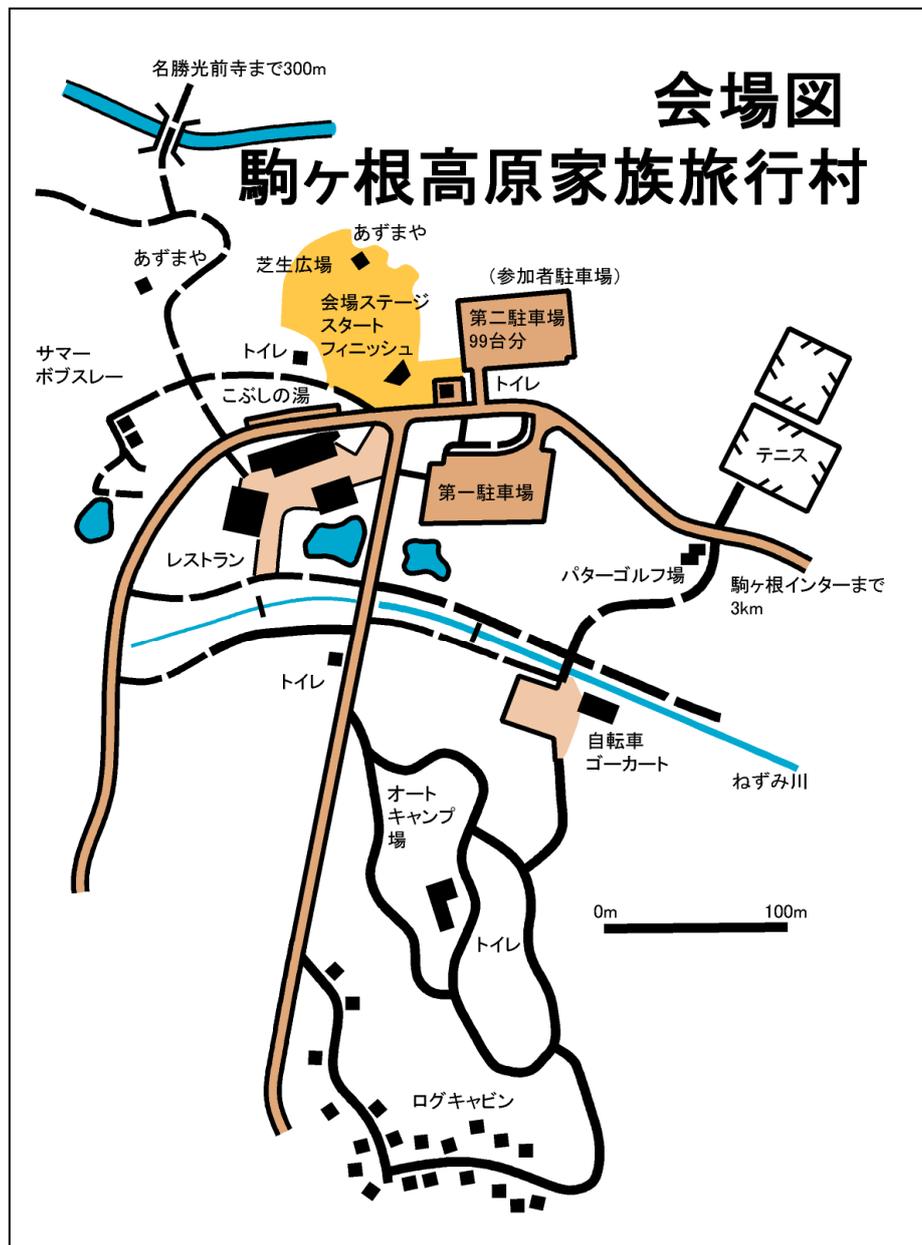
・ チーム競技を原則としますが、ソロでの参加も可能

ロゲイニングは3時間を超える競技では、安全性確保の面もあってチーム競技を原則としています。他の3時間競技の大会を見ていると、特に高齢の方にソロでの参加が多いことが認められます。聞いてみると、パートナーに迷惑を掛けたくない、自分のペースで楽しみたい、というのがその理由のようです。この大会はシリーズ戦の公認レースでもありませんし、今回の競技エリアは、池山も含めて比較的安全な範囲での競技となりますので、安全管理に関してすべて自己責任であることの誓約書を提出いただいた上で、ソロでの参加も認めます。ロゲイニングの裾野を広げるための特例ととらえていただければと思います。山岳部のロゲイン（例えば、別途紹介する10/3北八ヶ岳・蓼科ロゲイニング）では、このような措置を取ることはありません。

・ 計時器具は、e-card 使用、迅速な記録集計と後の反省・分析が容易

主催：ジェネシスマッピング

協力：駒ヶ根高原家族旅行村（中央アルプス観光）、長野県オリエンテーリング協会, orienteering.com



駒ヶ根ロゲイニング 2010 プログラム

開催日：2010年9月20日（月・祝）

雨天決行・荒天中止

会場：駒ヶ根高原家族旅行村芝生広場野外音楽堂前

競技形式：5時間ロゲイニング競技

（チーム競技／2～5名、但し例外的にソロでの参加も認めます）

タイムテーブル

7:30～8:15 受付・携帯電話申告書・誓約書の提出

8:20 競技説明

8:40 地図配布、e-card 起動

9:00 スタート（一斉）

14:00 競技終了

14:20頃 表彰式

14:30 フィニッシュ閉鎖

交通案内

テープ誘導は設置しません。案内図に従って来場下さい。駒ヶ根高原家族旅行村までのアクセス図は、

連休中同時に開催されている、クラブカッププログラムをご覧ください。

【自家用車】中央自動車道「駒ヶ根IC」より、2.4km。

【公共交通】新宿駅、および名古屋駅より高速バス便があります。「駒ヶ根インター」下車、2.4km

参加者駐車場

会場内第2駐車場（収容100台）を利用して下さい。第一駐車場および路上駐車は厳禁です。

受付

ロゲイニング参加者よりレース前に提出していただくもの

- ・ 携帯電話番号申告書および誓約書
本プログラム末尾に掲載（コピー可）

ロゲイニング参加者への配布物

- ・ ナンバーカード（ゼッケン）各自1枚ずつ
- ・ e-card 各チーム1枚
- ・ バックアップラベル 各チーム1枚
- ・ 会場内温泉施設「こぶしの湯」割引券 各自1枚ずつ

ナンバーカード着用のための安全ピンは各自でご用意下さい。(本部に若干数は用意しておきます)

会場

会場は芝生の青空会場となります。雨を防ぐ場所は、本部のあるステージとあずまやになります。競技中は、ステージすそに荷物を置いておくことができます。各自で更衣のために芝生広場に簡易テントやタープを設営することもできます。(推奨・但し前日夜間からの設営は禁止です。)

参加者が準備する装備

- ・携帯電話 PHS 不可 安全を確保するための緊急連絡用として使用します。
- ・ナンバーカードをとめる安全ピン
- ・コンパス、服装の装備(雨具含む)、水・及び行動食、補給物を購入するための金銭

競技用地図、地図を入れる為の耐水用ビニル袋、記録証明用 e-card は主催者が用意します。受付にて受け取りください。販売用のコンパスは、主催者が若干数準備しています。(2千円～9千円位)

地図

A3ノビサイズの縮尺1:15,000の特製地図を2枚使用

以下の3エリアから構成されます。山岳部の給水可能地点・トイレの場所は明記します。

1. 池山エリア 等高線間隔 10m 当方特製のトレッキングマップ
2. 駒ヶ根高原エリア 等高線間隔 5m 走行可能度 4段階の高精度オリエンテーリングマップ
3. 駒ヶ根市街地エリア 等高線間隔 10m 当方特製マップ(仕様は駒ヶ根市行政図 縮尺1:10,000 を上記と同じ縮尺で該当の位置に敷いて、必要な修正を施したものです。地元行政が発行したものですので、国土地理院2万5千分の1地図よりはよほど信頼がおけます)

コース設定者

山川克則・木村佳司

スタート

9:00 一斉スタート

8:30 にはスタート地区に集合しているようにして下さい。スタート地区はステージ前です。8:40 よりスタート枠の中に入っただき、競技地図を配布します。スタート枠に入る際に役員より、ナンバーカードの着用及びe-cardの起動チェックを受けて下さい。

競技

- ・5時間の競技時間の中で獲得した得点で順位を競います。同点の場合は、フィニッシュ時刻の早い方が上位の順位となります。
- ・競技範囲全体に30個程度(予定)のコントロール(目標場所)を設置します。それぞれのコントロールを通過し、e-card にその通過証明を刻んで

くること(e-card をユニットにしっかりとめ込むこと)によって、得点を得られます。

- ・コントロール番号が、そのまま得点となります。
- ・競技中の移動手段は徒歩またはランニングに限れます。
- ・制限時間を超えてフィニッシュした場合、1秒から60秒まで100点減点、その後60秒ごとに100点減点となります。30分以上の遅刻は失格となります。(フィニッシュ閉鎖時刻:14:30)

競技中の注意

- ・池山エリアでは、地図に示された道や小径以外の通行は禁止となります。森の中の直進などはできません。また、池山登山道のひとつのルートが現在災害による崩壊で、通行禁止になっています。(詳細は直前調査の上、地図に記載します)
- ・駒ヶ根高原エリアでは、道や小径を離れて、地図に立入可能で表かれた場所は、森の中に入って最短距離、最善ルートを各自選ぶことができます。このエリアは、全体にわたって隅々まで詳細な実地調査がなされており、危険な箇所も把握され、地図に適正な方法で、それが表記されています。
- ・駒ヶ根市街地エリアでは、いわゆる公道および公園など一般に人々の立入が許可されている範囲での競技になります。また2車線道路などでは、歩道のある側で移動するとか、信号を守るとか、一般の交通ルールに従った行動を取って下さい。

エイド

主催者側では、会場および池山エリアの登山口にエイドを設置します。エイドの場所は前述の崩壊地の詳細確認をこれから致しますので現状では未定です。当日配布の地図に明記します。それ以外の場所での、給水・給食は参加者自身によって行って下さい。観光地ですので、入手場所に不便はありません。また池山小屋周辺にも、給水場所があります。

禁止事項

- 競技を中断し、主催者に無連絡で帰宅すること。
- 競技中のごみ捨て
- 地図に示された通行禁止の部分を通行すること
- 一般的な交通ルール(信号遵守等)を守らず競技すること
- 自分の足以外での移動手段
- 競技時間を30分以上超えること
- 携帯電話などの連絡手段を持たずに競技すること
- チームの構成員が、競技中に30m以上離れて行動すること
- チーム以外の者の補助を得ること
- ペット動物の随行

許可事項

ナビゲーション補助用具の使用は許可します(GPS、高度計、レーザ距離計など)

フィニッシュ

会場にある、フィニッシュ用のユニットにカードをはめこんだ瞬間がフィニッシュタイムとなります。その後、記録読取り場所に来て下さい。

<http://www.orienteering.com/nagano/event/2009/komagane/program/soubi.html>

競技中止・競技域制限の方針

台風等荒天で、警報が発令された場合、競技中止・競技域制限の措置を取ることがあります。判断・広報は現場で行い、参加者個別への通知は行いません。電話・メール等での問い合わせには個別に対応致しません。中止になった場合も、参加費の払い戻しは行いません。

ロゲイニング初心者の方へ

以下の web ページを参考にして下さい。
今まで長野県内で数多くのロゲイニングイベントを手がけてきた本大会スタッフである木村が執筆したものです。

表彰対象

男子	1～3位
男子シニア賞（メンバー全員が50歳以上）	1～3位
女子	1～3位
混合	1～3位
混合シニア	1位
家族	1～3位

上記の他、ジャスト賞・飛び賞など、上位者以外にも賞を出します。駒ヶ根のフィールドを目一杯楽しんでくれることが、賞ゲットの近道です。

問合せ先（大会 web サイト <http://www.orienteering.com/~clubcup/> にて随時必要な最新情報を発信しています）

原則として電子メールにてお願いします。申込先のアドレスと同じです。
電話は、090-8041-4673（山川）まで

その他の注意事項

事前申込の方はスポーツ傷害保険に加入しますが、各自で健康状態を考慮し絶対に無理をしないでください。また、参加者はエントリーに当たって以下の誓約書を承諾したものとします。（特にソロでの参加の方は、安全面に関する自己責任意識を確認した上でエントリー下さい。当日提出いただく携帯電話番号申告書に下記文書を併記した上で署名提出いただきます）

私たちのチームは駒ヶ根ロゲイニング2010に参加するにあたり、下記のことを誓います。

（規則の遵守義務と自己管理責任）

私は大会主催者(以下、主催者と略す)が設けた大会基準、競技規則及び指示を遵守し、私個人の責任において安全管理・健康管理に十分注意をはらい大会に参加します。万一、体調などに異常が生じた場合は、速やかに競技を中止することを誓います。

（競技の中止勧告遵守）

私は主催者により競技続行に支障があると判断された場合、主催者の中止勧告に従うことを誓います。後遺症が発生した場合、あるいは死亡した場合においても、その原因のいかんを問わず、大会関係者の責任を追究いたしません。また、私に対する補償は大会に掛けられた傷害保険の範囲内であることを確認し、私が被った一切の障害についての賠償請求、訴訟の提起及びそれらの弁護士費用などの支払い請求を行わないことを誓います。

その他のナビゲーションメニューのご案内

3連休中、多彩なオリエンテーリングメニューを同じ場所で開催しています。詳しくは下記よりリンクをたどって下さい。また、10/3開催、蓼科・北八ヶ岳ロゲイニングにも是非ご参加下さい。

クラブカップ 2010 他関連大会

<http://www.orienteering.com/~clubcup/index.html>

蓼科・北八ヶ岳ロゲイニング

<http://www.orienteering.com/tateshina/index.html>

駒ヶ根ロゲイニング 2010 競技用携帯電話番号申告書

2010年9月20日提出

チーム名(ソロ参加の場合氏名)	
メンバーの氏名	
携帯電話番号	

誓約書

私たちのチームは駒ヶ根ロゲイニング2010に参加するにあたり、下記のことを誓います。

〈規則の遵守義務と自己管理責任〉

私は大会主催者(以下、主催者と略す)が設けた大会基準、競技規則及び指示を遵守し、私個人の責任において安全管理・健康管理に十分注意を払い大会に参加します。万一、体調などに異常が生じた場合は、速やかに競技を中止することを誓います。

〈競技の中止勧告遵守〉

私は主催者により競技続行に支障があると判断された場合、主催者の中止勧告に従うことを誓います。後遺症が発生した場合、あるいは死亡した場合においても、その原因のいかんを問わず、大会関係者の責任を追究いたしません。また、私に対する補償は大会に掛けられた傷害保険の範囲内であることを確認し、私が被った一切の障害についての賠償請求、訴訟の提起及びそれらの弁護士費用などの支払い請求を行わないことを誓います。

署名	
----	--